



「武雄鍋島家洋学関係資料」
重要文化財指定 10周年記念企画展

武雄、オランダを知る

～世界を見ていた武雄～

VOCって？

VOCはオランダ東インド会社の略称です。この VOC マークが入った資料は袋の形をしています。どのように使われたものなのかははっきりとは分かっていません。

2024年は、「武雄鍋島家洋学関係資料」が国の重要文化財に指定されてから10周年。
オランダを通じて世界を見据えた武雄の歴史を紹介します。

期 間 8月3日(土)～9月1日(日) 【日～木】9:00～17:00
【金・土】9:00～18:00

開催場所 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

ギャラリートーク 8月31日(土) 14:00～

ミニ講座 「学芸員、オランダで知る」8月24日(土) 13:30～/定員20名(先着順)
募集開始...8月6日(火) 9:00～ ※終了後、14:00～ギャラリートークがあります。

主催:武雄市、武雄市教育委員会 / 後援:オランダ王国大使館、佐賀新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ、株式会社ケーブルワン、株式会社テレビ九州、有田ケーブル・ネットワーク / 協力:長崎歴史文化博物館、シーボルト記念館、佐賀県立九州陶磁文化館



武雄式サイエンス始めます。

武雄鍋島家に残された膨大な資料の中には、武雄と長崎を行き来する家臣を通じて、長崎に集められる様々な物品を購入していた記録があります。天球儀・地球儀・望遠鏡・時計など好奇心をそそる製品から、蘭書・ガラス瓶・温度計・顕微鏡などあらゆるものまで。武雄領は、海外から入ってきたそれらのものをそのまま用いているのではなく、蘭書を読んで実際に実験を試みたり、日本の社会に受け入れられるように作り替えて使っていました。いわば「日本のモノづくり」の原点を垣間見ることができます。これが武雄のサイエンスなのです。

実際にどんなモノづくりをしたの？

ヨーロッパの時計を日本の暮らしに合わせて改造したり、蘭書を読んで必要箇所をチェックし、翻訳をしました。

武雄領のスゴさとは

武雄鍋島家洋学関係資料の
資料数と種類の多さ

藩でもない一地方でしかない武雄で
行われたこと

記録と実物の
両方が残っていること

集めるだけでなく、
研究・実験を行い、実践的に活用もしたこと

佐賀藩や日本の
近代化の原動力となったこと